

2024年3月期（第14期） 第1四半期決算説明資料

2023.7.25

テクノホライゾン株式会社
代表取締役社長 野村拡伸



テクノホライゾン株式会社

目次

1. 2024年3月期（第14期） 第1四半期決算概要
2. 2024年3月期（第14期） 通期業績予想
3. トピックス

1. 2024年3月期（第14期） 第1四半期決算概要

(1) 2024年3月期 損益サマリー

単位：百万円

	2023年 3月期 第1四半期	2024年 3月期 第1四半期	増減	増減率
売上高	7,827	10,768	+ 2,940	37.6%
映像&IT	6,287	8,769	+ 2,482	39.5%
ロボティクス	1,540	1,998	+ 458	29.8%
営業利益	△ 537	△ 269	+ 267	—
経常利益	△ 352	94	+ 446	—
親会社株主に 帰属する 当期純利益	△ 412	△ 203	+ 209	—

前年度実績比
増収増益

増収要因：

- ・主に連結範囲の拡大が寄与
- ・「映像&IT」「ロボティクス」とともに増収

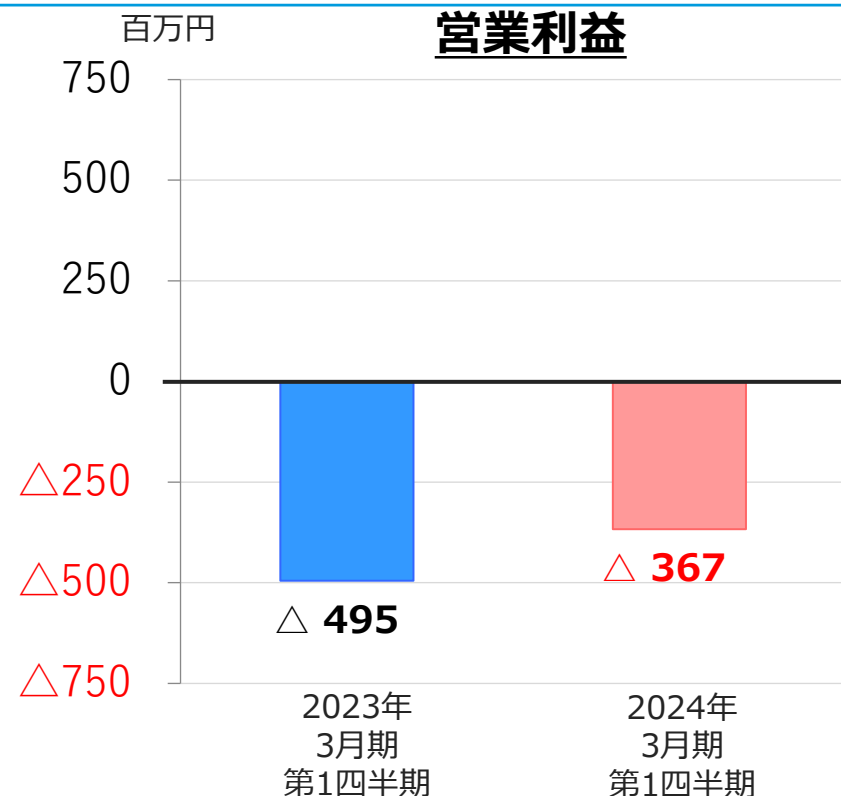
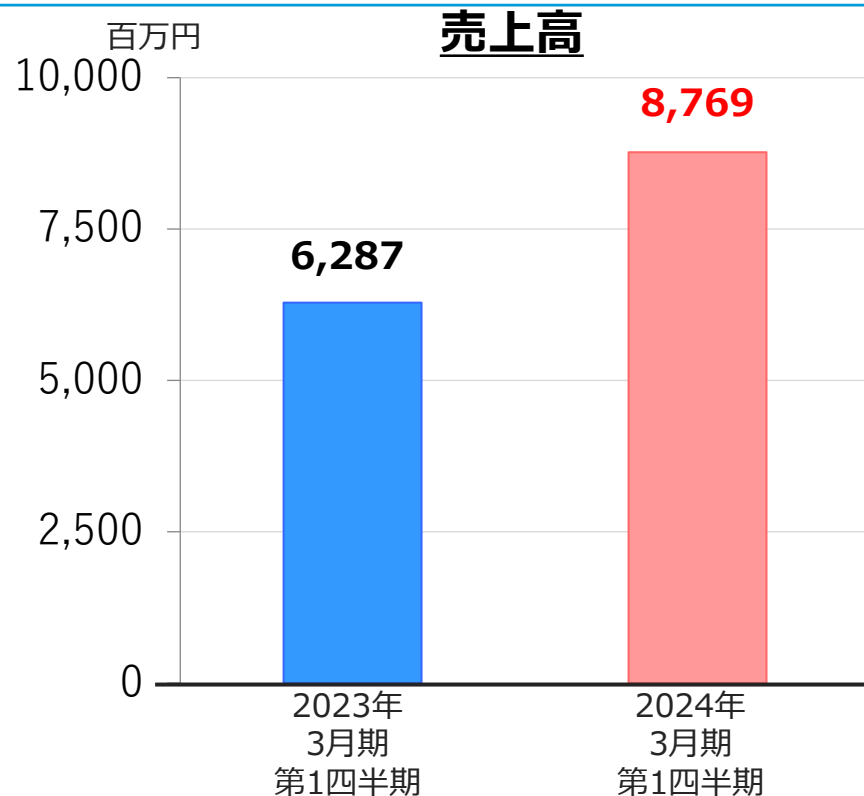
増益要因：

- ・売上の増加
- ・販管費の減少

その他：

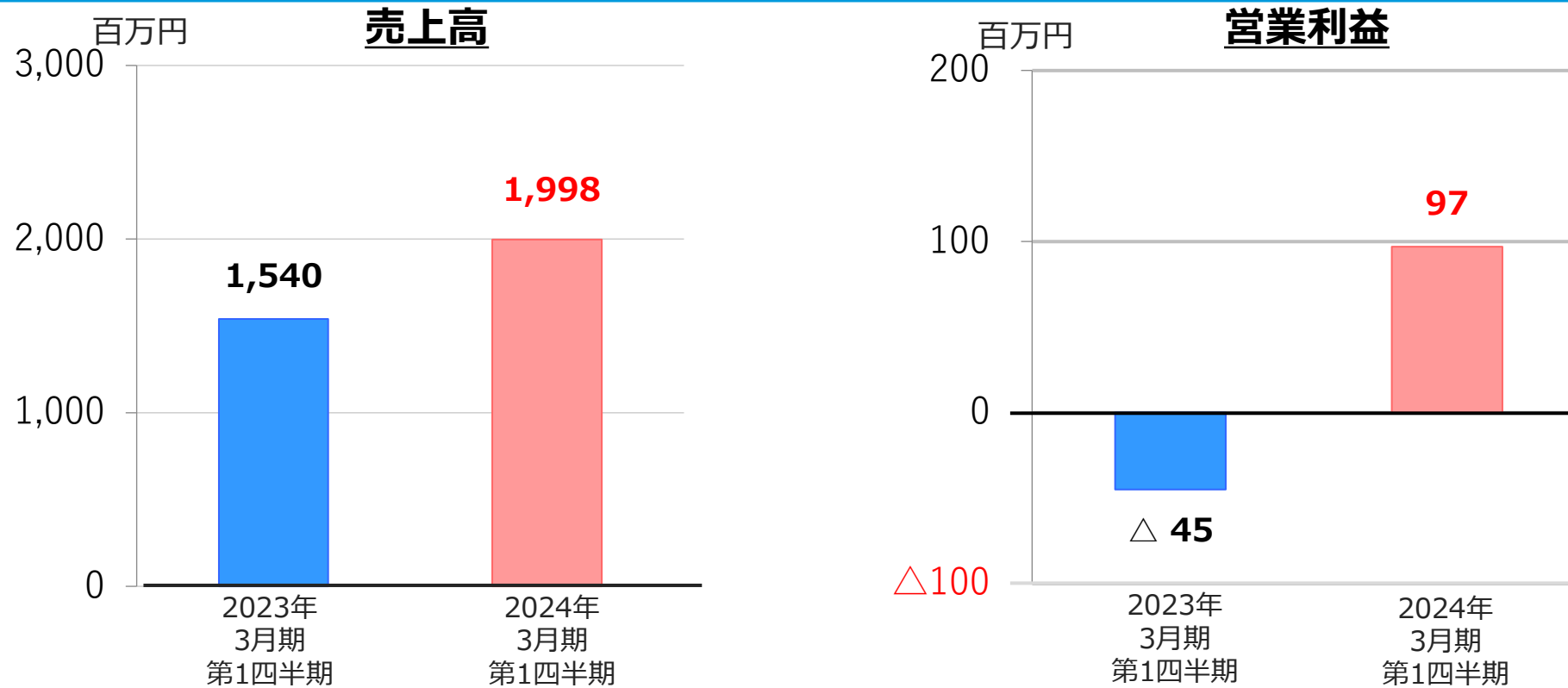
- ・営業外収益 349百万円(為替差益)
- ・特別損失 201百万円
(製品保証引当金繰入額)

(2) 映像 & IT 事業セグメントの損益



- ・ 教育市場（電子黒板、書画カメラ等）：①国内 例年第1四半期連結会計期間では学校の入学時期と重なり低調
②欧米 特にヨーロッパで経費削減が進展
- ・ 車載事業：半導体関連部品の調達難の影響が緩和し納品遅延が解消傾向
- ・ サイバーセキュリティ事業：東南アジア/企業や政府関連施設の需要が高く、増収・増益で推移
- ・ 物価上昇や円安によるエネルギー高騰の影響は未だあるものの連結範囲の拡大や管理費用削減によりセグメント損失が縮小

(3) ロボティクス事業セグメントの損益



- FA事業関連機器：①国内 半導体関連部品の調達難の影響が緩和、引き続き堅調な需要あり
②中国 設備投資意欲の後退の影響
- 物価上昇や円安によるエネルギー高騰の影響はあるものの連結範囲の拡大や管理費用削減によりセグメント利益が増加

(4) 2024年3月期 連結貸借対照表

単位：百万円

科目	2023年 3月期	2024年 3月期 第1四半期	増減
流動資産	27,386	26,404	△ 981
固定資産	9,516	9,509	△ 7
資産合計	36,903	35,913	△ 989
流動負債	22,758	22,527	△ 231
固定負債	5,433	5,078	△ 354
負債合計	28,192	27,606	△ 585
株主資本	7,177	6,887	△ 289
その他の包括利益合計額	1,527	1,364	△ 163
純資産合計	8,711	8,307	△ 403
負債純資産合計	36,903	35,913	△ 989
自己資本比率	23.6%	23.0%	△0.6pt

流動資産

- ・受取手形及び売掛金 : △1,873百万円
- ・電子記録債権 : +80百万円
- ・在庫 : +906百万円

固定資産

- ・投資その他の資産 : △506百万円

流動負債

- ・支払手形及び買掛金 : △1,117百万円
- ・短期借入金 : +135百万円

固定負債

- ・長期借入金 : △411百万円

純資産

- ・利益剰余金 : △258百万円
- ・為替換算調整勘定 : △163百万円

2. 2024年3月期（第14期）通期業績予想

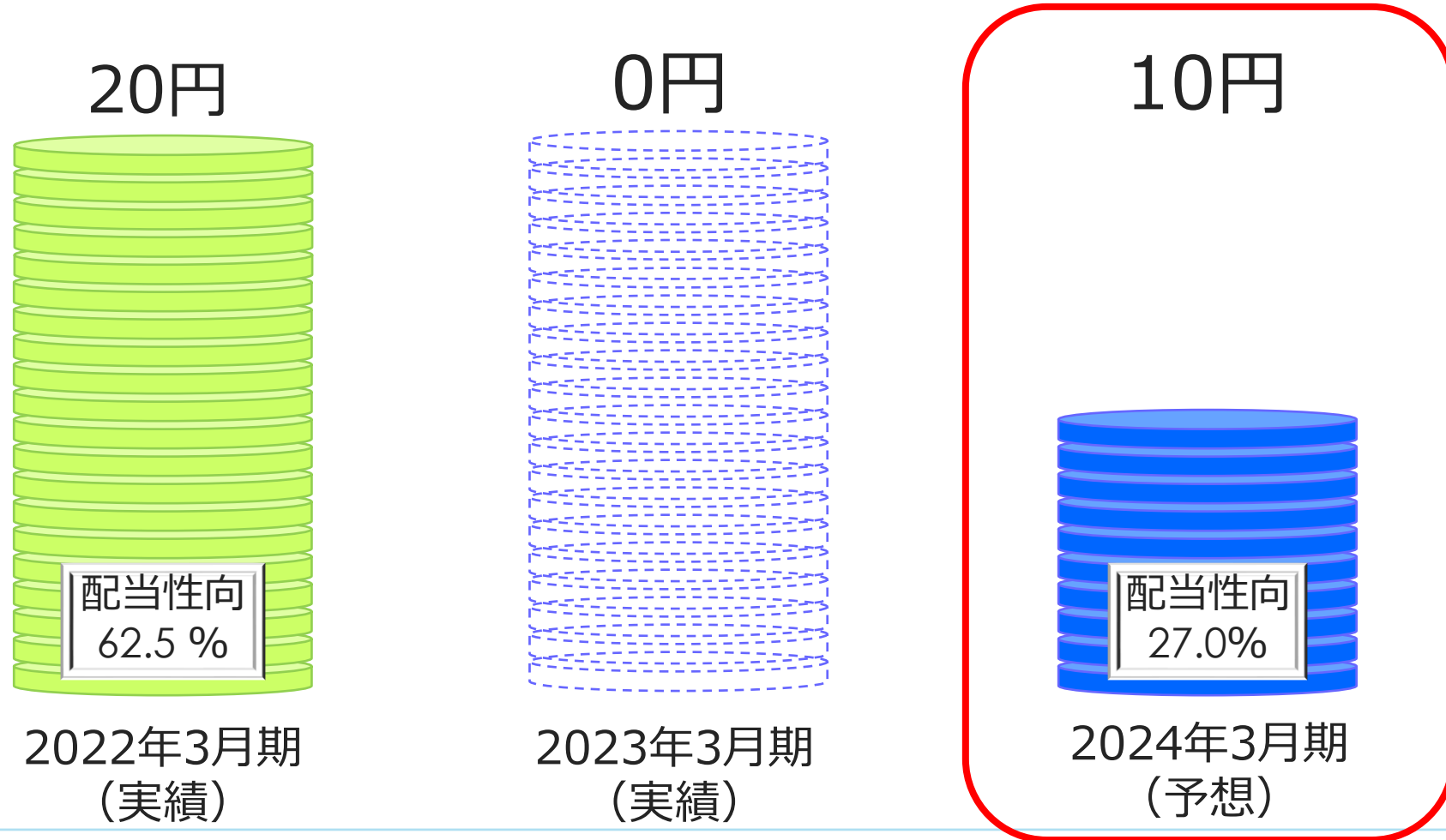
(1) 2024年3月期 業績予想 (前期比較)

単位：百万円

	2023年 3月期 実績	2024年 3月期 予想	増減	増減率	前年度実績比 增收増益
売上高	43,765	48,000	4,234	9.7%	<u>增收要因</u> ・ 連結範囲の拡大 ・ 既存事業の底上げ
営業利益	△ 530	800	1,330	—	
経常利益	△ 405	600	1,005	—	
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	△ 1,553	500	2,053	—	<u>増益要因</u> ・ 連結範囲の拡大 ・ 経費の削減

(2) 2024年3月期 配当予想

業績回復を見込むことから、10円の復配を予想



3. トピックス

(1) テクノホライゾングループが創るスマートDXの世界

Techno Horizon Unicity

街に暮らす人々が効率よく快適に暮らし働ける場所に変えていきます

- ✓ 建物を造り直す、街を再開発するわけではありません。
- ✓ 保有する技術、これから生み出す技術でスマート化された暮らしを創造していきます。



(2) テクノホライゾングループが目指す明るい社会

学校・教育

- ★ 誰もがどこからでも質の高い教育を受けられる新しい学びの場を提供
- ★ データとテクノロジーで最適な指導のアドバイス、働き方改革実現

オフィス

- ★ 経営者、従業員の創造力、マネジメント力の最大化ソリューション提供
- ★ 効率（生産性）の向上

店舗・住宅

- ★ 店舗/交通/オフィス/工場などのあらゆる生活シーンを映像とITで「街=CITY」を繋ぐ
- ★ 建設/施工-店舗運営-セキュリティ-サポートのDX化実現

交通

- ★ 安心安全な運行、事故削減、マナー改善に貢献
- ★ 交通機関を利用する人やモノの移動に生じるリスクを軽減

医療・介護施設

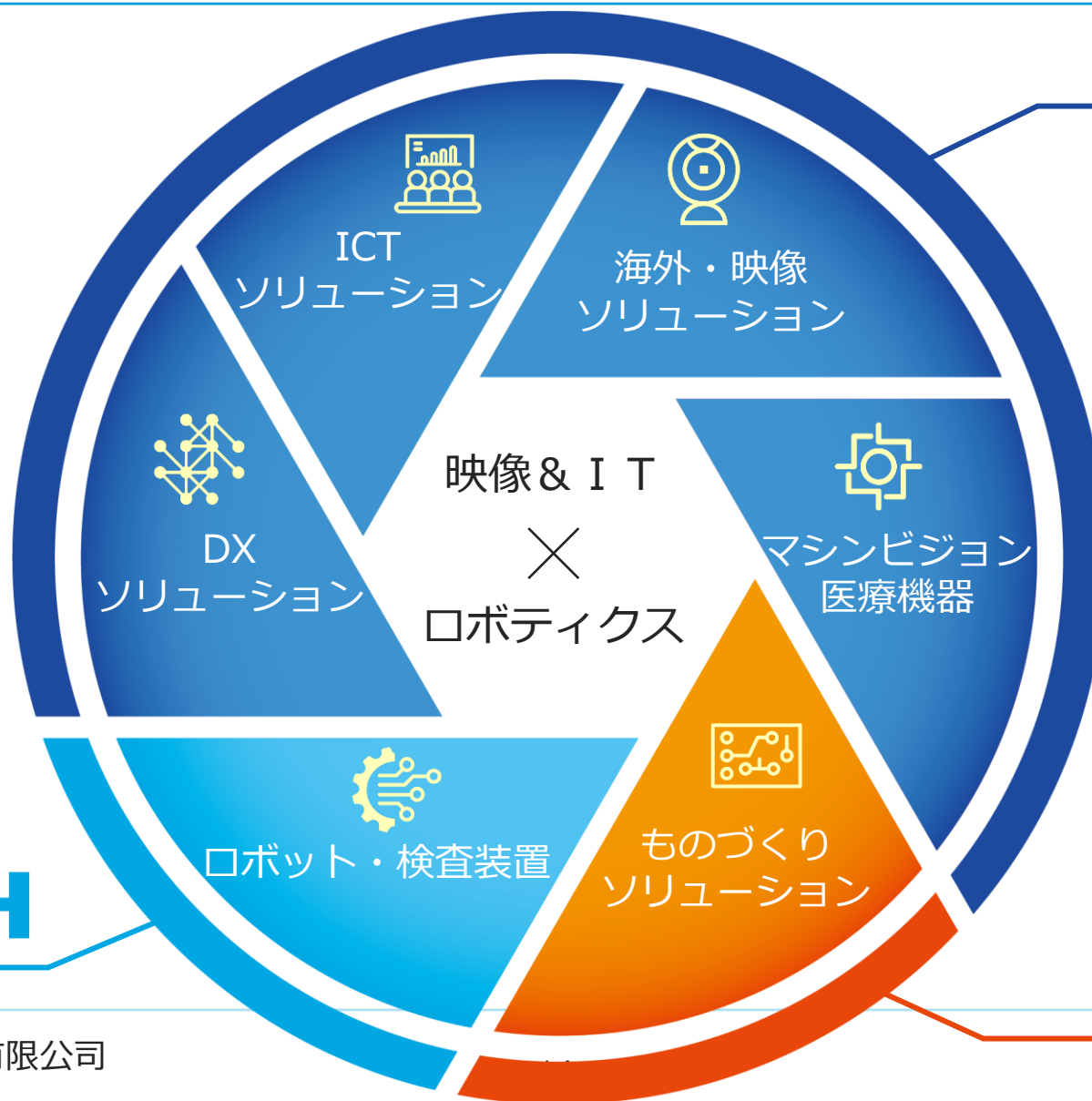
- ★ 映像・センシング技術による介護現場のDX化
- ★ 映像技術を応用した先端医療機器の開発

工場

- ★ 様々な制御技術、光学技術、IT技術でスマートファクトリー化に貢献
- ★ 成形市場・基板実装市場をリード
- ★ 自動化困難な目視検査の自動化



(3) 認知度アップ①：ブランド統一



ELMO

- テクノホライゾン株式会社
- > 株式会社アド・サイエンス
 - > 株式会社ブルービジョン
 - > アドワ―株式会社
 - > 株式会社CYBER DREAM
 - > ウェルダンシステム株式会社
 - > Elmo USA Corp.
 - > ELMO Europe SAS
 - > ESCO Pte. Ltd. Group
 - > PACIFIC TECH PTE.LTD. Group
 - > 東莞旭進光電有限公司

TIETECH

- テクノホライゾン株式会社
- > 泰志達智能科技（蘇州）有限公司

APOLLO

APOLLO SEIKO

アポロ精工株式会社

(3) 認知度アップ②：展示会等への出展

年間を通じて国内外75超の展示会等に出展予定



今年もプライベート展示会を開催

テクノホライゾン ソリューションEXPO 2023 in 名古屋

会期：2023年10月11日（水）・12日（木）

10:00～17:00

会場：名古屋市中小企業振興会館（吹上ホール）

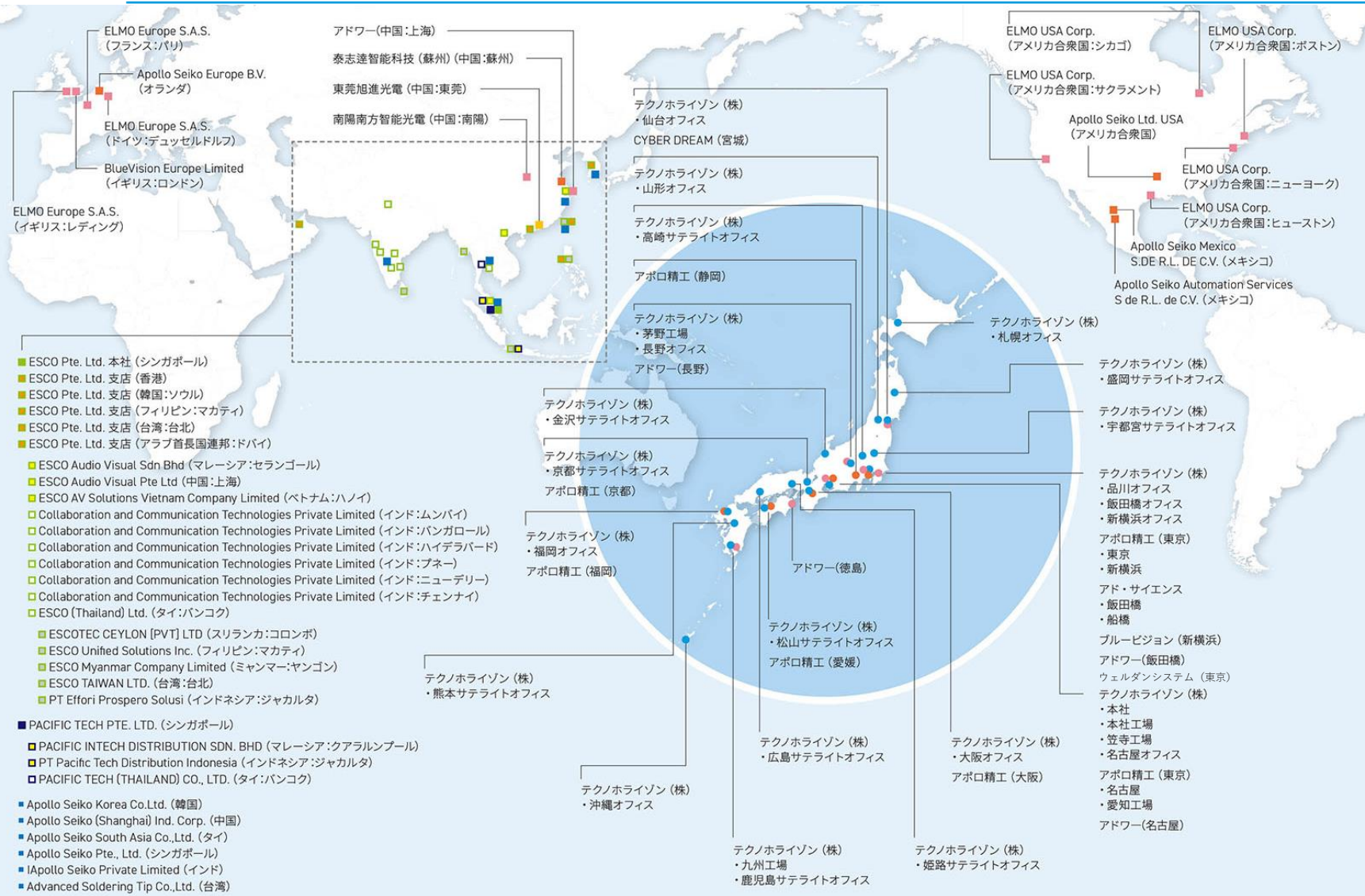
◇受付開始は8月上旬を予定しております。

◇詳細につきましては、改めてご連絡させていただきます。

弊社の製品や取組につきまして、改めてより深く知っていただける展示会でございます。是非ご参加ください。



(4) グローバル化を加速



国内44拠点
海外48拠点

多様性に満ちた人材で
グローバルなニーズに応える



課題感

- ★ 人材確保・育成
- ★ コーポレート・ガバナンス

(5) 航空機整備現場へのウェアラブルカメラ導入

協力会社として航空機整備のDX化へ

- ✓ 当社製品である「ウェアラブルカメラ (EW-1)」を航空機整備現場へ提供
- ✓ 当社を含め4社の協力により航空機整備のデジタルトランスフォーメーション (DX) を実現
- ✓ ウェアラブルカメラは低照度かつ広角レンズを搭載、様々なシーンで活用可能



整備作業現場での利用状況



ウェアラブルカメラ「EW-1」

(6) 新製品ピックアップ①

xSync Board / ELMO Board 2023年度モデル

- 映す・書く・保存する・共有するという基本的な4つの機能を1台に搭載し使いやすさを追求することでスピーディーな意思疎通を実現

使いやすさを追求した機能性



デジタル化による効率化

⇒学校・教育機関での活用
多様性を重視した個別最適な学びと協働的な学びを実現

⇒企業での活用
デジタル化・DX化への促進



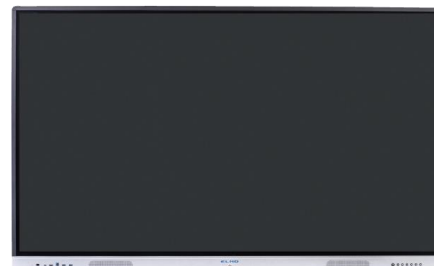
学校・教育機関向け
一体型電子黒板 xSync Board



企業向け
デジタルホワイトボード ELMO Board

ChromeOS Flex 搭載電子黒板 (2023年7月～)

- ・ ChromeOS の充実した機能性
- ・ エルモ電子黒板の操作性



学校・教育機関向け
一体型電子黒板 xSync Board



Google Workspace for Education
各種アプリケーションを利用可能

- ✓ Google の認証を取得しChromeOS Flex を搭載
- ✓ 普段利用しているChromebookとまったく同じ UI で利用が可能、スムーズな操作性を実現
- ✓ クラウドベースのアプリケーションを活用したリアルタイムな協働作業やファイル共有が可能

(6) 新製品ピックアップ②

IH（誘導加熱）自動はんだ付けロボット 「J-CAT WAVE」

世界初の磁気集中技術により局所的なセルフヒーティングを実現

- ✓非接触でのはんだ付けを行うため、消耗部品が少なくランニングコストを抑制
- ✓誘導加熱であり、はんだ付け後のワーク温度低下も早く、安全なはんだ付け環境を実現
- ✓簡単な操作性



IH自動はんだ付けロボット「J-CAT WAVE」



レーザー自動はんだ付けロボット 「J-CAT STAR GATE」

はんだ付け温度のばらつきによる過加熱等の問題を解決する**次世代のレーザー自動はんだ付けロボット**

- ✓はんだ付け温度でレーザー出力を設定
- ✓放射温度計がレーザー光と同軸に設置されていることでレーザー光を照射している正確な位置の測定が可能
- ✓はんだ付け温度・レーザー出力の見える化を実現



レーザー自動はんだ付けロボット「J-CAT STAR GATE」

(7) 2024年3月期の業績に影響する主な不確定要素

- ① 部品・商材の納期遅延
- ② 半導体価格上昇
- ③ 資源価格高騰や円安による半導体価格が上昇
- ④ 受注の減少リスク

(対策)

- ① 購買の最適化等を通じて生産性の向上
- ②③ 販売価格の適正化
- ④ 最適な営業体制の構築

将来見通しに関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保障を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

I R担当窓口

- 役職： 取締役
- 氏名： 加藤 靖博
- 電話： 052-823-8551
- FAX： 052-823-8560
- E-mail： info@th-grp.jp

グループ社是

風に向かう

やすらぎを誘う木陰のさわやかな風
嵐が近づきサーフィンには持ってこいの大波
上昇気流に乗り優雅に舞う蝶
アゲンストにも果敢に攻めるショートホール

無難なんて言葉は無い
状況は刻々と変化している

平等に与えられたチャンス
授かった希望
未来へ羽ばたく風をつかめ

TECHNO HORIZON

IMAGING & IT × ROBOTICS

ELMO

TIETECH

APOLLO
APOLLO SEIKO

TECHNO HORIZON GROUP

ADS

BlueVision

ESCO
EXCELLENCE DELIVERED

Pacific Tech

APOLLO
APOLLO SEIKO

Adwaa

CYBER DREAM